

第47回住宅デー

私たち千葉土建は建設で働く地元の職人が加盟し、船橋習志野支部には2,900名を超える組合員が在籍しています。千葉県全体では県内最大の労働組合として、約23,000名が加入しています。

千葉土建は建設職人の労働条件や生活保障を改善するための活動を続けながら「安心・安全なまちづくり」をめざしています。地域の建設組合として、災害発生時には市と協力し応急処置も行ってきました。

地域の皆さんと交流しながら、防災について考える機会として“住宅デー”を船橋市6会場・習志野市1会場で開催します。是非ご家族そろって、ご来場ください。

会場のご案内

9/8 (日) 10:00~12:00



※駐車場はありません、公共交通機関をご利用ください
※習志野駅（新京成）徒歩4分 ※自転車可

イベント内容

●住宅相談

●工作教室

タイルアート(鍋敷き)

●防災のとりくみ

非常食配布・簡易ベット展示等



簡易ベットと防災トイレ展示



昨年の受付の様子

悪質な点検商法にご注意を

点検商法から地域住民を守る

1) 概要

「今、近所で屋根の工事してるんだけど、お宅の屋根割れてますよ」「梯子あるから点検しましょうか」と声をかけて来て本来修理が必要としない屋根を点検し、修理しないと大変だとおとり、多額の請求をする悪徳商法の被害が、ここ5年で3倍に増えています。

2) 建設職人も困っている

このような悪徳商法が増えた結果、健全に仕事をしている職人に「この間来た人に屋根の修理が必要と言われたんだけど、みてもらえませんか」と言った問い合わせが非常に増えています。実際、見に行くと補修する必要がなく点検のみのケースが多いそうです。また市内に実在する工務店の名を名乗って悪さをしている業者もいたり、町場の建設職人は対応に追われています。

3) リフォーム依頼は、飛び込み営業の業者に頼まないこと

点検商法に引っかからない為のファイルを住宅デー会場で配布します。

※非常食と点検商法対策ファイルは数に限りがありますのでお早目に（先着順）

